

資産運用レポート：炭鉱のカナリア

1. はじめに

みなさんは「炭鉱のカナリア」という言葉をご存知でしょうか？

炭鉱では、しばしばメタンや一酸化炭素といった有毒ガスが発生しており、炭鉱作業員は身の危険にさらされていました。

そこで、人間よりガスの毒性に敏感なカナリアを持ち込んで、鳴き声が止むことにより危険を察知するようにしたのです。

もし、株式市場にて、株価下落の兆候をいち早く察知する「炭鉱のカナリア」を見つけることができれば、下げ相場に備えることができます。

★日経平均 株価チャート（日足、2004年1月～6月）



今の相場と状況が酷似している2004年前半の日経平均です。5月には、ブラックメイ（暗黒の5月）と呼ばれた急落が起きました。

市場全体が急落する場合、中小型株は日経平均以上に値下がりするため、個人投資家の損失も多大になりがちです。

このような下げに巻き込まれない方法はないのでしょうか。